

(様式2)

平成14年度 次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業
実施報告書

1 学校名
岐阜市立陽南中学校

2 実践内容

題材 1年生総合学習「とびら」情報分野

ねらい テレビ会議システムを通して情報の伝達をし、意見や感想の交流をする体験から情報機器を活用した情報交流の便利さに気づくことができる。
わかりやすく情報を伝達するためのプレゼンテーション能力を高める。
情報伝達・交流のマナーに対する知識を身につける。

時	学習活動 等	IT (情報機器 等) の活用
1	テレビ会議システムを使って、自己紹介の体験をしてみることで、新しい情報機器について知る。	<ul style="list-style-type: none">・ 2台のテレビ会議システムと校内LANを使用し、2つの部屋に分かれてテレビ会議体験を行う。・ 情報の伝わり具合や、よりよい情報交流のための工夫の在り方について考えさせる。
2	今までの「とびら」の学習を振り返り、テレビ会議システムを使って情報発信をし、交流してみたい内容を考える。 うまく情報伝達をするための方法とプレゼンテーションの作成計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none">・ さらに追求が必要な場合は、インターネット等を活用し、情報収集を行う。
3 ・ 4	伝えたいテーマを元に、主張を整理し、班で協力してプレゼンテーションを作成する。 班ごとにテレビ会議システムを使って、発表のリハーサルを行い、効果的な情報伝達方法を追求する。	<ul style="list-style-type: none">・ テレビ会議システムを常に接続した状態で行い、映り具合や伝わり具合を確かめながらプレゼンテーションを考える。
5 ・ 6	テレビ会議システムを使って、模擬テレビ会議を行う。 作成したプレゼンテーションを使って発表し、お互いに意見や感想の交流を行うことで、情報伝達・交流に必要なことについて考える。 テレビ会議システムの他の使い道について考える。	<ul style="list-style-type: none">・ 模擬テレビ会議を行う。・ テレビ会議システムを自分たちで操作し、発言者に注目させたり、資料を映し出したりして、効果的なプレゼンテーションができるようにする。・ 互いのプレゼンテーションに対して、それぞれの立場から、活発な意見交流を行う。

3 実施時期
平成14年10月

4 成果と課題

新しい情報機器を活用すると言うことで、高い関心をもって学習活動に参加する生徒が多かった。テレビ会議システムの便利さを感じ、将来どのようなことに活用できそうかを想像し、自分の考えを持って意見を交流することができた。
テレビ会議システムを体験することで、校外の方との交流手段の選択肢が広がった。
テレビ会議を行うためには、交流したい相手先に同じ程度のシステムが必要となる。
授業で活用するためには、綿密な打ち合わせが必要となる。しかし、私たちの打ち合わせにテレビ会議システムを活用すれば、打ち合わせもスムーズに進むようになるとも考えられる。

5 今後の方向

今回は、模擬テレビ会議という形を取ったが、今後は他校との交流や、他の立場の違う方との交流活動に役立てていきたいと考える。また、機会があるごとにテレビ会議システムに触れさせ、テレビ会議を抵抗なく受け入れていくことができるようにしていきたい。そのためにも、私たちが、テレビ会議を使って他校との交流や打ち合わせをしていくなどの活用をしていくとよいのではないかと考える。